

平成 25 年度

事業報告書

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

公益社団法人 京都府医薬品登録販売者協会

平成 25 年度 事業報告

平成 25 年 4 月 1 日 ~ 平成 26 年 3 月 31 日

平成 25 年 4 月 1 日(月) 京都府医薬品登録販売者協会が公益社団法人に認定され登記されました。

平成 25 年 4 月 1 日より公益社団法人 京都府医薬品登録販売者協会として活動して参りますので御協力お願いいたします。

一、公益目的事業

1. 登録販売者の資質及び職能の向上に関する事業

(1) 各研修・講習会開催

第一回研修会 キャンパスプラザ京都

5月23日(木) 基準講習会(B講座1・B講座2)

受講者 241名(会員176名、一般65名)

生涯学習研修会のB講座として

B講座1「法規、医薬品の適正使用」

講師 京都府保健福祉部薬務課副課長 下村 公隆様

B講座2「リスク区分の変更のあった医薬品」

講師 京都市保健福祉局生活衛生課課長補佐 水谷 淳様

「登録販売者生涯学習研修会」

A 講座1

テーマ 「やけど(日焼けを含む) 傷、外傷がある」

講師 タケダ薬品工業ヘルスケア学術担当薬剤師課長代理 野村 宏孝様

第二回研修会

7月21日(日)

受講者 260名(会員165名、一般95名)

A 講座2 テーマ「頭が痛い」

講師 ライオン(株)ヘルス・ホームケア事業本部学術情報部

薬剤師 阪本 康則様

A 講座3 テーマ「不眠、いらいら、うつ、夜泣き、他」

講師 大幸薬品(株)マーケティング部企画学術グループ

薬剤師 下川 道世様

第三回研修会

9月26日(木) 全国統一薬事講習会(B講座3・B講座4)

受講者 250名(会員171名、一般79名)

生涯学習研修会のB講座として

B講座3「薬事関係法規」、制度、適正使用、安全対策」について

講師 京都府保健福祉部薬務課副課長 下村 公隆様

B 講座 4 「登録販売者として求められる理念、倫理、関係法規等」

講師 京都市保健福祉局生活衛生課課長補佐 水谷 淳様

A 講座 4 テーマ「痔疾患」

講師 タケダ薬品工業(株)ヘルスケア学術担当

薬剤師 課長代理 野村 宏隆様

第四回研修会

11月23日(土)

受講者 252名(会員166名、一般86名)

A 講座 5 テーマ「アレルギー性鼻炎症状」

講師 興和新薬(株) 学術研修部課長 薬剤師 山口 克也様

A 講座 6 テーマ「下痢」

講師 大幸薬品(株) マーケティング部企画学術グループ

薬剤師 下川 道世様

(2) 店舗の自主点検、巡回指導による医薬品の有効性、安全性の確認事業

7月1日(木)～7月20日(土)

平成25年度の自主点検は店舗管理者及び店舗従事登録者を含め店舗の設備、医薬品等の管理状況を自主的に調査し、全店が府民にとって安心安全な医薬品の供給者たるよう資格者全員が意識向上に努めることを目的に、すべての会員に自主点検表の提出を義務づけた。

自主点検表の作成にあたっては京都府薬務課の指導のもと作成した。

<自主点検表提出者>

店舗管理者 111名(京都府37名、京都市74名)

店舗従事登録者 80名(京都府22名、京都市58名)

<自主点検表未提出者>

店舗管理者 6名(京都府1名、京都市5名)

店舗従事登録者 22名(京都府9名、京都市13名)

(3) 女性部研修会

平成26年2月11日(火) グランヴィア京都ホテル

参加者 24名(講師含む)

テーマ：胃がん、大腸がんの予防を目指して

ーがん検診と普段の生活からの両面での予防をー

講師 京都府立医科大学大学院医学研究科地域保健医療教授

京都府立医科大学保健・予防医学教室公衆保健科学部門

医学博士・医師 渡邊 能行先生

「がん」の成り立ちとその予防 発がん(遺伝子の異常)から細胞増殖(倍・倍と増殖する)原因物質、リスク、予防、食事、検診、と非常にわかり易く説明していただき、店頭でも話題にできる講演でした。

検診の大切さや、「ダメ」と言われているものは避けることも大切である事、又、一番大事なことは日常生活の大切さだと言うことも学びました。

2. 医薬品の適正使用に関する啓発及び知識の普及事業

(1) 麻薬・覚せい剤・大麻等薬物乱用防止「薬と健康の週間」

6・26 ヤング街頭キャンペーン

麻薬・覚せい剤撲滅キャンペーン「ダメ・ゼッタイ」普及運動

6月22日(土)

四条河原町高島屋前等

毎年行ってきた「ダメ・ゼッタイ」普及運動はボーイウカウト・ガールスカウトや大学生、高校生の皆さんと一緒に、市民の方や観光で来られた方達にもパンフレットとティッシュペーパーを渡しながらか薬物の恐ろしさを訴えました。25年以上続けてきた運動ですが、脱法ハーブを含め、薬物依存者が減っていないのが現状です、少しでも薬物依存者が少なくなる様今後もがんばります。

参加者 22名

(2) 10月27日(日)平成25年度京都薬物乱用防止行動府民会議総会

～麻薬・覚せい剤乱用防止運動京都大会～ が開催され「薬と健康の週間」の行事の一つとして14名が参加した。又、薬と健康の週間の救急絆創膏を参加者全員に配布した。

開催場所：京都産業会館8F シルクホール

(3) 医薬品適正使用普及及び啓発事業

京都府薬剤師会等と協調し、薬業団体連合会、京都府の行う「薬と健康の週間」行事に積極的に参加し、府民に正しい薬の使い方と健康の知識を普及啓発することに努めた。

10月17日(木) セルフメデケーションハンドブック2013(日本OTC医薬品協会)を全会員に郵送、各会員店頭にて活用する。

(4) 優良医薬品等の普及、及び流通の適正化事業

10月28日医薬品等の取り扱い、その他薬事に関する情報の収集等

近畿地区医薬品登録販売者協会の皆さんとも常に連絡を取りながら、大阪府医薬品登録販売者協会会館にて近畿2府4県の会長、副会長、研修委員長が集まりプロツク会を開催し、近況について意見交換を行った。

(5) 医薬品等の販売姿勢の適正化の促進

京都府薬剤師会、京都府医薬品小売商業組合と常に連携を取り、販売姿勢の適正化に関して意見交換した。

(6) 献血に関する事業

7月22日(日) @JR京都駅前

献血受付者 62名

献血者 48名

生涯学習研修会(キャンパスプラザ京都)開催日に合わせて献血事業をJR京都駅前にて協会会員他、一般の人にも協力していただき開催した。

3. 薬草に親しむ会及び薬草園整備事業

(1) 薬草園整備事業及び京都府委託事業「薬草に親しむ会」の開催

「薬草に親しむ会」は多くの府民の方に参加いただき、銀閣寺横の八神社から大文字山を得て如意が嶽をトレッキング、府の推奨される花と緑、歩こう運動の趣旨に添い「薬草に親しむ会」を5月、10月、の2回実施、本年度19

年目になる（府よりの委託事業）

5月6日（月） 「第一回薬草に親しむ会」

参加者 110名 薬務課8名、協会スタッフ19名（講師含む）

当日は薬草の天ぷらと健康茶（中島生薬）を参加者全員に提供する。

天ぷら材料：こしあぶら、ワサビの葉、イタドリノの芽、どくだみの葉
よもぎ、山ウド、みつ葉、たけのこ、（大好評でした）

「薬草に親しむ会」講座5

講師：同志社女子大学薬学部教授 小西 天二先生

果実（種子）と薬用植物2の講義をして戴きました。

10月6日（日） 第二回 「薬草に親しむ会」

参加者 114名 薬務課9名 協会スタッフ 15名（講師含む）

当日は夏を思わせる様な暑さでしたが、114名もの参加者があり「薬草に親しむ会」が府民の方に親しまれてきたかを示すものと思いましたが、又、当日はキノコ汁と健寿茶を提供しました。

キノコ汁材料：なめこ、しめじ、エノキ、まいたけ、しいたけ、たけのこ、油揚げ等、たくさんの具材を用意して作りました。

健寿茶（薬樹の森製）は、あまちゃづる、イチヨウ葉、桑の葉、おおばこ、どくだみ、緑茶、を混合して作られています。

「薬草に親しむ会」講座6

講師：同志社女子大学薬学部教授 小西 天二先生

果実（種子）と薬用植物3の講義をして戴きました。

（2） 薬草・生薬研修会

4月28日、平成25年度の薬草・生薬研修会は山内光治先生の説明で、薬草園内で開催し、薬樹や薬草について薬草図鑑を参考にして説明を受けた。身近によく見ている樹木や薬草も名前の知らないものや、名前と実物が一致しないものが多くあり、少しでも多く知識を増やさなくてはいけないと言う声もあった。研修会終了後参加者全員で2時間ほど園内整備を行った。

参加者 21名

二．総会事業

1．全日本医薬品登録販売者協会総会

（1） 5月22日（水） 東京都全薬協会館において開催

畑 忠夫会長、川端 鎮代議員出席

全薬協役員改選

畑 忠夫京都府会長が全薬協副会長に選出された。

会長 岩本龍治、副会長 竹内茂、畑忠夫、渡辺捷英、

専務理事杉本雄一、常務理事 熊弘幸、北村則夫、理事9名

ネット販売について最終段階の協議が行われていると報告された。

伊吹文明先生、衛藤晟一先生、厚労省から中井清人薬事企画官に出席戴き
ネット販売については、地域医療の重要性をもっと認識してもらうように
頑張ると挨拶された。

(2) 京都府医薬品登録販売者協会総会

5月23日(木) 定時総会

キャンパスプラザ京都

議長 沼田清一(中京支部)

議事録署名人 米田宗一(東山支部)、西田信夫(中京支部)

会員総数 231名

出席者数 176名

一号議案 事業報告

川端鎮副会長 平成24年度事業報告書に基づいて説明した。

二号議案 決算報告

木尾昭文会計担当常務理事 平成24年度決算報告書に基づいて説明報告した。

監査報告

山内光治監事は平成25年4月20日 畑忠夫会長、木尾昭文会計担当常務理事、京都中央税理士法人事務所 関本高志先生立会いの下監査を行った結果公正であったとの報告があった。

三号議案 定款の一部変更について

公益社団法人に移行するため定款の一部を変更しなければならないことがある、変更については理事会に一任して戴きたいと、畑会長から説明があった。

一号議案、二号議案、三号議案、まとめて審議する旨、議長提案があり三案とも承認された。

三. 其の他の事業

1. 会報の発行 平成26年1月に「京薬協」を発刊した。
「会員通信」第12号4月26日、第13号6月20日、第14号8月21日、第15号10月21日、第16号26年1月21日、5回発行した。
2. 新年大会 平成26年1月11日(土) グランヴィア京都ホテル
参加者 49名
例年新年大会当日臨時総会を開催していたが、公益法人に認定されたことにより、臨時総会を開く必要がなくなった。(定款39条により1月6日の理事会にて事業計画(案) 予算(案)が審議可決された)
平成26年度臨時総会は開催していない。
3. 支部活動強化育成については、支部長が各会員店舗を回り会費の自動振替の促進や各店舗の自主点検などの指導に当たった。
4. 「店舗賠償責任保険」117名加入、「店舗賠償勤務者保険」32名加入、

全薬協会長交代のお知らせ

(全薬協より都道府県会長宛書面より)

平成25年12月20日付けで岩本龍治会長より「体調不良で、病気療養のため」として辞任届が提出されました。このことに関し、1月8～9日常務理事会を開催し、善後策を協議するとともに、岩本会長に再確認を取ったところ、「ドクターストップがかかり、無理をしないよう」と、言われていることであり、常務理事会としてやむを得ないものとして、新会長に現副会長の「畑 忠夫」(京都府会長)が選出されました。新会長の任期は定款上「平成27年度総会後の理事会で次の会長が決まるまで」となっております。

全薬協副会長 竹内 茂

御挨拶

このたび、岩本龍治会長が病気療養のため会長を辞任され、2月の理事会において残任期間を引き継ぐことに成りました。もとより副会長の重責が全うできるか不安を持っておりまして、会長という一番の重責を担うことに成りました。この場に及んでは私に託された期待に応える組織運営を、岩本路線の継承をもとに進めたいと考えます。

志半ばで退任される前会長と十分引き継ぎを行います。公益法人として認定されて1年10ヶ月、我々を取り巻く環境は決して平たんな道とは言えません。内外に山積する課題を一つ一つ解決しながら前進したいと考えます。又、役員構成は副会長の一名が欠員ですがこのまま運営に当たります。

「和」を大切に残りの任期を務めますので、役員はもとより全国の会員の皆様の温かいご支援をお願いし、意を尽くせませんが就任の御挨拶とさせていただきます。

平成26年2月13日

公益社団法人 全日本医薬品登録販売者協会
会長 畑 忠夫

畑 忠夫京都府会長が全薬協会長に就任されました。大変お忙しい会長です。京都府の会員全員で応援しなければ全薬協の会長は務まりません。私達の要望を厚労省に届けるためにも会員皆様の力が必要です。ご協力お願いいたします。

公益社団法人 京都府医薬品登録販売者協会